

平成 27 年度事業報告

平成 17 年度からの長期 10 カ年計画の最後の 27 年度事業計画の特徴は、平成 26 年度事業の目標であった「人を育て遺してゆく」ことを、さらに推進してゆくこと、とくに、道内 179 市町村の半数に作業療法士が不在であることへの対応にあった。

4 本柱を中心に以下の通り振り返ってみた。

①組織強化

平成 27 年度末にて会員データの一元管理に向けた JACCS カードへの完全移行を目指したが、3 割程度の会員の協力が得られていない。執行部としての責任もあろうが、会員の協力が得られない限り組織強化はできないので引き続き協力をお願いします。

また、地域作業療法推進委員会の機能を基に地域部を組織することができた。

各支部間や支部内の活性化、協会のパイロット事業の有効活用に関しては、それぞれのカウンターパートが理学療法士会、言語聴覚士会にも構築され、次の 10 年に向けての基礎づくりとなった。協会とのパイロット事業も、資金が切れた 9 月以降においては、北海道の地域医療介護総合確保基金を運用した事業として北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会が受託したので、そこで継続して展開することができた。

②質の向上

学術部、教育部、支部、地域部、事業部が連携して、各種の研修・講習会、三階建て「地階；地域系、一階；MTDLP 系、二階；OJT 系」研修講習会などの開催であるが、上述の通り、下期からは 3 団体として連携して北海道の委託事業として研修することができ、地域の発展に寄与することができた。

③職域拡大

協会のパイロット事業「各市町村と道士会を繋ぐ窓口担当を配置・育成し地域作業療法を推進する」事業を活用して各自治体への挨拶、啓発資料作成などを執行し、各自治体で地域のケア会議や地域支援事業などに参画することであるが、現在で 30 程度の市町村から会議や事業の依頼をうけるようになった。あわせて認知症対策推進委員会を組織し含め地域法包括ケアシステムに向けた事業を推進することができた。

④社会貢献

北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会として、道、各自治体にアプローチするとともに複数名の市町村担当者や地区代表などを育成・組織化できた。

⑤道士会外務

協会と協定書を締結し、効率的かつ効果的な運営（会員データの共有など）を図り、災害対策として Do-RAT、JRAT、ナショナル・レジリエンス推進協議会と連携することができ、また協会の 47 都道府県委員会や 50 回札幌学会の開催準備に若干の士会員の協力をえて推進することができた。

【事務局】

[総務部]

1. 会議運営

- ・ 定期総会：平成 27 年 6 月 6 日開催
- ・ 支部部局連絡会議：年 2 回開催
 - 第 1 回 6 月 6 日、第 2 回 1 月 8 日
- ・ 定例理事会：年 3 回
 - 第 1 回 6 月 6 日、第 2 回 11 月 7 日、第 3 回 3 月 5 日
- ・ 臨時理事会：年 5 回
 - 第 1 回 4 月 25 日、第 2 回 8 月 22 日、第 3 回 9 月 25 日 (Web)、第 4 回 10 月 22 日 (Web)、第 5 回 1 月 8 日
- ・ 常任理事会：年 4 回開催

第1回4月21日、第2回7月11日、第3回12月5日、第4回2月13日
・三役会：年7回開催

第1回6月5日、第2回8月18日、第3回11月4日、第4回1月7日、第5回3月1日

2. 会員基本データの保守・管理
3. 定期刊行物の発送及び保管及び会費未納者へのニュース等の配布の停止
 - ・士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）
4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状
5. 会計事務所との打合せ
6. 慶弔：祝電20件 養成校入学式11件、養成校卒業式9件
弔電2件（関係団体）

[財務部]

1. 平成27年度予算執行の管理
2. 平成27年度中間決算
3. 平成27年度収支決算書の作成
4. 平成28年度予算案の作成
5. 会計マニュアルの一部改正

【学術部】

[編集委員会]

1. 平成27年度 機関誌[北海道作業療法]の編集・発行関連
 - ・北海道作業療法 第32巻第1号～第4号発行
2. 投稿論文促進に向けた取組み

[学術課]

1. 公益社団法人の未来を創る学術と教育の連携（重点課題研修）の企画・運営
 - ・高次脳機能の評価と治療 平成27年12月6日（日）
 - ・特別支援教育（就学支援）平成27年12月12日（土）
 - ・認知症の地域支援 平成27年12月20日（日）
 - ・精神科退院支援 平成28年1月31日（日）
2. 学術研究助成金について
 - ・平成26年度学術研究助成金報告書の公開（編集委員会と協業）
 - ・平成27年度学術研究助成金の助成
 - ・平成28年度学術研究助成金の募集・選考審査

【教育部】

1. 講習会の開催 13回
 - ・札幌4 各支部1

- ・現職者共通研修 7 回
- ・道央、道北、道東 1 道南 4

2. 現職者選択研修の開催

- ・札幌 3 回
- ・PT/OT/ST 合同研修会
- ・札幌 1 回
- ・重点課題研修の運営
- ・札幌 4 回
- ・生涯教育制度の管理運営

3. 会議

- ・教育部三役会議 3 回
- ・支部教育部長との教育部全体会議 2 回

【調査部】

1. 部局会議の開催

- ・平成 27 年 6 月 10 日、平成 27 年 11 月 10 日、その他は全てメール配信で実施

2. アクセス解析結果より新規システム導入に関する調査

- ・道士会主催講習会/研修会に関する申し込みシステムについて
- ・タブレット・スマートフォンからの閲覧数増加に伴う画面表示システムについて

3. ホームページ等のメンテナンス

- ・不具合修正、新規コンテンツ追加、会員カード決済に伴う外部業者との調整

4. 会員カード対面決済における調査

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 儀礼、新年交礼会出席

3. 日本作業療法士協会、47 都道府県作業療法委員会との連携

4. 他団体等への委員、講師派遣、後援協力

5. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

6. 平成 28 年新年交礼会の企画および運営：平成 28 年 1 月 9 日（金）開催

7. 北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会との協力、連携

【福利部】

1. 新会員歓迎会の開催

- ・平成 27 年 4 月 25 日 北海道自治労会館にて実施（新人 114 名、先輩 32 名、計 146 名参加）

2. 団体保険管理・運営・各種必要保険の調査

- ・団体保険において年間対象者 1,300 名にて契約更新

3. 学会での託児運営の実施

- ・第 46 回北海道作業療法学会にて託児コーナーの運営を実施（4 名の会員が託児コーナーを利用）

4. 福利部からのホームページ作成・更新
 - ・福利部からの案内を更新
5. 福利部からの福利相談窓口設置・稼働
 - ・検討継続 相談件数 0 件
6. 施設情報誌の作成
 - ・平成 27 年度会員名簿に合冊（10 支部計 154 施設の情報を掲載）
7. 就職実態等に関するアンケート調査を実施
 - ・平成 27 年度に道内養成校を卒業する作業療法学科の学生を対象に調査

【広報部】

[広報部広報課]

1. 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行、web データのホームページへのアップロード
2. 道士会事業データの保存、資料提供等の協力（支部への写真提供等）
3. Web 広報活用の検討、推進（SNS 活用について継続検討）
4. 支部広報部との連携（地方紙の活用状況の情報共有）
5. ガイドラインの更新（広報課マニュアルの更新）

[広報部企画課]

1. リーフレットの補充
2. ノベルティの作成
3. イベント備品の刷新（OT 紹介パネルの下書き作成）
4. Uturu の作成および発送（1 回）
5. SNS による一般向け広報の検討

【事業部】

一般市民に向けた公益的活動、OT 志望者を増大するための啓発活動、作業療法士が直面する今日的課題の解決に役立つ取り組みなどを計画実行した。

1. 公益的活動：
 - ・北海道「次世代の担い手育成事業」における「福祉授業アドバイザー」登録に基づき、道の要請成に対応し講師登録者の協力により派遣を実施した(12 件全てに対応)。
2. 啓発活動：
 - ・新会員に対し、各部と協同して新人会員ガイダンスを実施した。
 - ・北海道医療技術者団体協議会主催のパネル展(地下歩行空間 6/9)に参画
 - ・小学生職業体験イベント「ミニさっぽろ」(10/4~5)に出展、いきいき福祉健康フェア(10/16~18)に参画
 - ・「作業療法の日」啓発事業として各支部の健康祭りなどの参画と連動、さっぽろ地下歩行空間にて札幌支部と協同して啓発イベント(1/24)を実施した。
 - ・支部事業部長と会合し各支部の実践状況や問題を共有した(年 2 回)。
3. 今日的課題への取り組み：

- ・MTDLP 基礎研修会及び事例報告会を行なった。

【保険部】

1. 士会員への情報提供

- ・保険部内でメーリングリスト作成、各支部へHJ ネット情報の発信

2. 平成 26 年医療改定におけるアンケート結果の情報配信

- ・士会ニュースとHPに情報発信

3. 平成 27 年介護報酬改訂におけるアンケートの実施

- ・28 年度に士会ニュースやHPに情報発信予定

4. 保険関連研修会の開催

- ・これだけは知っておこう、診療報酬改定 平成 28 年 3 月 19 日(土) 札幌医療リハビリ専門学校にて実施

【地域部】

1. 事業推進関係

- ・市町村担当者および地区長を把握
- ・四半期ごとに市町村事業および地域ケア会議への参画状況を把握
- ・市町村事業および地域ケア会議等への参加、講師派遣（新篠津村、恵庭市、石狩市、夕張市、奈井江町、砂川市、滝川市、深川市、函館市、鹿部町他）
- ・市町村介護予防事業等への作業療法士派遣（中頓別町、下川町、遠別町、知内町、帯広市）
- ・市町村事業及びケア会議に関する企画書および報告書を管理
- ・地域作業療法推進に関する事業推進および調査を実施

2. 企画運営関係

- ・市町村担当者会議を実施（室蘭 6/27、旭川 7/4、帯広 9/5、札幌 10/31、釧路 1/31、北見 2/14、札幌 3/6）
- ・市町村アドバイザー養成講座「基礎過程」を実施（室蘭 6/27、旭川 7/4、帯広 9/5、札幌 10/31、釧路 1/31、北見 2/14、札幌 3/6）
- ・地域作業療法推進に関する「北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会」との連携を推進
* 企画運営関係事業は日本作業療法士協会 H27 年度パイロット事業、北海道リハビリテーション 3 団体連絡協議会事業と連携し実施した。

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 平成 27 年度定期総会開催（6/6 さっぽろ医療リハビリ専門学校）

- ・委任状回収率 60.3% (昨年度総会 65/3%)

2. 平成 28 年度定期総会開催準備及び運営

[学会評議委員会]

1. 平成 27 年度 第 46 回学会の支援

2. 平成 28 年度 第 47 回学会の支援

3. 平成 29 年度 第 48 回学会の学会長候補の選出

4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し

5. 平成 27 年度 第 46 回札幌学会の参加者の動向調査（学会実行員会）

6. 北海道作業療法学会法人化についての検討

[選挙管理委員会]

1. 27 年度役員選挙の実施

[企画調整委員会]

1. 住宅改修WGの運営

- ・ 症例報告、改修例などを学会にて報告し、活動への参加を啓発
- ・ 士会HPでの報告は、システムを含め検討予定

2. 特別支援教育WGの運営

3. 理事会等での議案に対する対応

- ・ 第二次長期 10 カ年計画の進捗状況を確認し、日本作業療法士会の 5 カ年計画にあわせた形で、行動計画を作成

【特設委員会】

[規約検討委員会]

1. 特定個人情報規程の作成

2. 現状の規約・規程の整理・集約

[白書委員会]

なし

[災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立てを行った

2. 災害対策マニュアルについては未完成の状況

3. 災害リハビリテーション推進協議会への参加

- ・ 会議 5 回、研修会 1 回開催

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催（6、1月）

2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整

3. 理事会と支部間の連絡調整

4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整

5. 地域長・地区長・市町村担当者の把握

6. 地域作業療法推進事業 O J T 研修会の協力開催

7. 生活行為向上マネジメント講習会 4 地域で協力開催

[札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部内会議、ブロック連絡会の開催

3. 広報誌の発行
4. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会の運営 16 回
5. 道庁パネル展・作業療法啓発活動・いきいき福祉健康フェア・ミニさっぽろの参加
6. 事業部事業「出張講座」へ協力し講師派遣 12 回
7. 外部関係機関への会員派遣

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会 3 回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回、支部懇親会の開催 2 回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修の運営 1 回
5. 千歳健康祭りへの参加・北広島元気フェスティバル参加、地域包括支援センタースタッフとの意見交換会の開催
6. 石狩地域リハビリテーション推進会議への派遣

[空知支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会 3 回、支部内会議の開催
3. 広報誌「向日葵」の発行 2 回、役員用掲示板の管理、支部交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修運営協力
5. 砂川市立病院祭参加、OT 啓発活動

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力
5. いきいき健康祭り、地域イベント活動への参加
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[日胆支部]

(1) 苫小牧地区

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力
5. ひだか健康まつりへの参加
6. 外部関係機関への派遣

(2) 室蘭地区

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の協力
5. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
6. リレーフォーライフへの参加、伊達福祉機器祭りへの参加
7. OJT 講習会・MTDLP 講習会運営協力

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会3回支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営5回
5. O Tの日啓発事業の企画運営、専門学校への講師派遣
6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
7. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議を7回開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修の運営
5. 福祉フェスティバルへの参加、3回講師派遣事業の実施
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. OJT 講習会・MTDLP 講習会運営協力

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議、第4回全道研修会運営委員会の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力、第4回全道研修会開催
5. 市民向け自助具講習会の開催（釧路高専と共催）
6. くしろ健康まつり、厚岸町障がい者（児）ふれあいフェスティバル、CCL 主催市民フォーラム、他地域イベント活動への参加

[道北支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、意見交換会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行4回、新人歓迎会・懇親会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修会の運営協力
5. 旭川市健康まつりの企画運営、OTの日啓発活動の企画運営、他地域イベント活動への参加
6. 道士会事業部・富良野地区市民公開講座の企画運営、OJT講習会・MTDLP講習会運営援助
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部意見交換会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営1回
5. 啓発活動として地域経済情報誌への記事掲載
6. 支部事業部主催研修会の開催（実績なし）、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催（北見市内3校）
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握